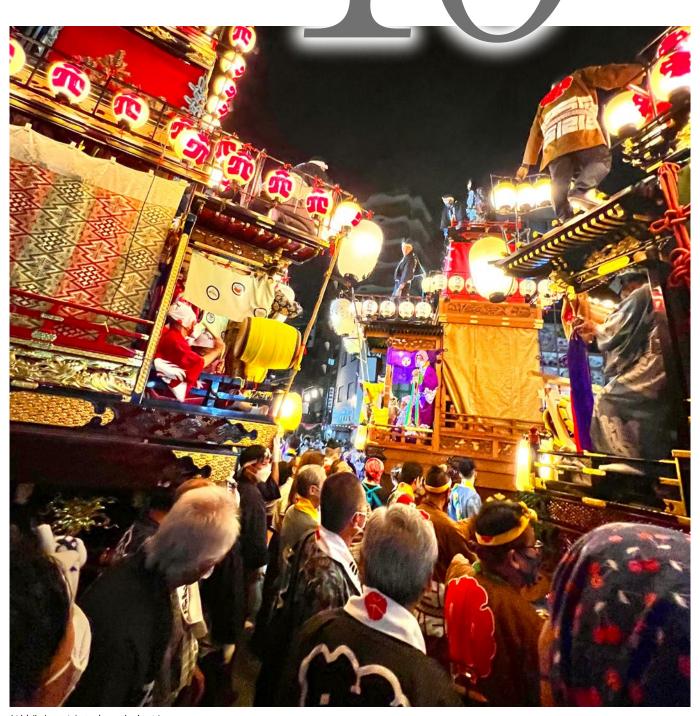
Rotary International District 2570 GOVERNOR's Monthly Letter

2025-2026年度 Vol.04

ガバナー月信

<u>月号</u> 2025.10.10



川越まつりの曳っかわせ

● 連雀町交差点 (川越市連雀町)



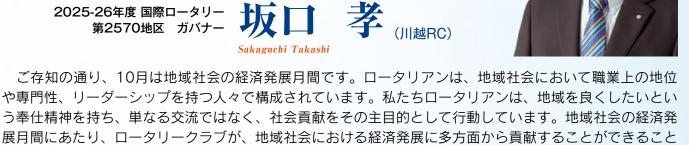
UNITE FOR GOOD



第2570地区ガバナー

地域社会の経済発展月間

Economic and Community Development Month



地域社会の経済発展に貢献するためのアクション

を自覚し、その手法をクラブメンバーで話し合いましょう。

- 1. 地域の中小企業支援
- ・起業家支援:若手起業家や地元のスタートアップに対する支援
- ・クラブメンバー間のビジネス交流を通じて、地域内での取引や連携を促進。
- 2. 職業奉仕活動による雇用促進
- ・地域の若者や失業者に向けたスキルアッププログラムの提供。
- ・地元企業と連携し、インターンシップや就業体験の機会を造り、実践的な職業体験を提供。
- 3. 教育支援を通じた人材育成
- ・地域の学生が進学できるよう支援し、将来の地域経済を担う人材を育成。
- ・実業高校や専門学校と連携し、地域の産業に直結するスキルを持つ人材を育成。
- 4. 地域資源の活用と観光振興
- ・地域の魅力発信:観光資源や特産品を広く発信し、観光客を誘致。
- ・祭りや市民マラソンなど、地域活性化イベントの企画・協賛。
- 5. インフラや生活環境の整備支援
- ・公共空間の整備:公園や商店街の美化など、住みやすい環境づくりを支援。
- ・災害復興支援:災害後の地域復興において、資金や人的支援を提供。
- 6. 国際ロータリーのネットワークを活かした地域間連携
- ・海外との姉妹クラブとの協力で、地域の産品輸出や国際交流事業を支援し、経済的な波及効果を狙う。
- 7.そして何より必要なことは、我々ロータリアンが「何をしたいか?」ではなく、「地域社会が何 を望んでいるか?」と言うことです。

ロータリークラブは多様な業種・専門職の人々で構成されているので、知見や経験、人脈が豊富です。こ れらを活用して地域の問題を総合的に解決し、持続可能な経済発展に寄与できます。

Peace Path Project (平和への道を共に歩む)

2025年8月、青少年プログラム事業としてウクライナから1名の長期留学生の受入がスタート いたしました。このプロジェクトは国・地区・世代を超えた「平和を願う繋がり」により約3年 間を費やし実現されました。まさに「Unite for Good」の年度にふさわしい事業と言えます。

Dominika Pohosian (通称:ドマ)

滞在期間: 2025年8月~ 2026年6月

好きなこと:読書・音楽・日本のアニメ・旅行

スポンサークラブ:川越RC、受入学校:埼玉平成高等学校、外部協力:NPO団体PIPPO

2

資金推進委員

ロータリー財団セミナー」

Report on the Rotary Foundation Seminar

資金推進委員

清水保人(熊谷南RC)







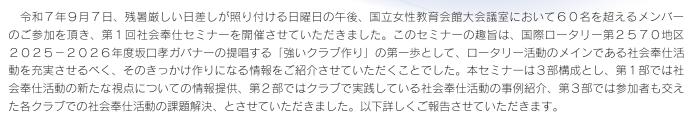
国立女性教育会館において75名が参加し開催された。原島生慈ガバナーエレクトは寄付 が有効に使われていることをロータリアンに理解してもらうことが財団の仕事である。今日 学んだ事を行動に!と語り。細淵克則統括委員長は主旨説明で、財団を知ってもらいたい・ 好きになってもらいたい。そのためのセミナー開催であると話した。その後ロータリーカー ドの紹介や補助金について詳細な説明があり。後半は高橋乃々花さん(学友)帰国報告・ 25-26年度の地区・グローバル補助金奨学候補生より自己紹介が行われた。水村雅啓PDGは 講評で、帰国報告と奨学候補生の話がとても良く、聴くと励みになり頑張れる。寄付に始ま り奨学生まで広範囲にわたる活動を一緒に盛り上げ発展することを望むと話した。

子ども家庭委員会

第1回社会奉仕セミナーを終え

子ども家庭委員会 委員長

管将寬(深谷RC)



まず、第1部は埼玉県福祉部地域包括ケア課 地域包括ケア担当の中前千佳様にお越しいただき、「ヤングケアラーのために私たち ができること」についてご講演いただきました。埼玉県では、全国に先駆け令和2年3月に「埼玉県ケアラー支援条例」を制定し、令 和3年3月には条例に基づき「埼玉県ケアラー支援計画」を策定しました。計画では、「ヤングケアラー支援体制の構築・強化」を基 本目標のひとつに掲げ、関係機関等と連携して支援体制の構築に取り組むこととしており、その最前線で活躍されている中前氏により、 ヤングケアラーの定義やその実態、ヤングケアラーが抱えている課題や支援体制について詳細にご説明頂きました。埼玉県ではヤン グケアラーを「家族等の世話をしている18未満の者」と定義してより広く捉え、その中でも支援が必要か否かは人それぞれ違うと いうこと、つまり、「ヤングケアラー=支援が必要な子ども」との認識は誤りであるとしております。家族のケアで悩みを抱えている 子を対象に支援していくことが重要であり、その悩みは、その子のライフステージにより変化するため、継続的サポートが重要であ るとのことでした。ロータリーの社会奉仕活動としては、子どもたちに「信頼できる大人たち」との認識を持ってもらえるような活 動を通して、悩める子どもたちの支えとなり、問題解決のために行政機関等への橋渡し役を担えるのではという感想を持ちました。

第2部では、本庄ロータリーの斉藤一英直前会長よりスライド・映像等を使いながら埼玉県立児童養護施設上里学園の子どもたち への支援活動の紹介がありました。子どもたちを連れての動物園散策、寄贈した遊具で遊ぶ子どもたちの笑顔、七五三のお祝いで初 めての和装姿にはしゃぐ子どもたちなどの映像とともに、心温まる事業についてご説明頂きました。また、クラッシックカー展覧会 場にて地元の高校生とともに募金活動の様子もご紹介いただきました。ロータリーの奉仕活動が地域に根差したすばらしい事例とし て、大変参考になるお話でした。

第3部では、坂口孝ガバナーと社会奉仕委員会金井福則統括委員長により、ロータリーの社会奉仕活動についてのそれぞれの思い や捉え方についてお話しいただき、その後、各クラブで課題となっていることや疑問点等の質問を会場 から頂き、お二人に答えていただく会場参加型の形式として行いました。

本セミナーを通して、当地区の社会奉仕活動が活発になり、会員の帰属意識が高まり、「強いクラブ」 へと変化していく大きなきっかけになったのではないかと思っております。







地区ラーニング委員会

新会員ラーニングセミナー開催

New Member Learning Seminar

地区ラーニング委員会 ラーニングファシリテーター **水村雅啓** (入間RC)



9月14日(日)、東松山市民文化センター(第4,5グループ)、20日(土)、ウエスタ川越(第1,2, 3グループ)と二日間にわたり、新会員ラーニングセミナーを開催し、約100名の方々に参加していただき ました。ラーニング委員会のメンバーが講師となり、ロータリーの歴史、ロータリーの基本理念、地区とク ラブの組織と現状、ロータリー財団と米山記念奨学会について学びました。

新会員の皆さんにとっては、少し難しい話だったかと感じましたが、時には真剣に体系立った知識を得る ことも重要だと思います。「ロータリーを知ることは、ロータリーが好きになること」。親睦活動も奉仕活動 も「なぜするのか」を知れば楽しみも質も高まります。

参加者の皆さんには、今回のセミナーの中で、何か自分なりの「気づき」を得て、その気づきがロータリー を好きになり愛着を持つファクターとなってくれることを願っています。今後も、多くの仲間との出会いと 学びの場を経験していただきたいと感じました。







地区青少年交換委員会

青少年帰国報告

Youth Exchange Return Report

国際ロータリー第2570地区青少 年交換委員会では、2024年度から 2025年度にかけて多くの学生が世界 各国での貴重な経験を積み、それぞ れの地域で友情と相互理解を深めま した。帰国報告会においては、学ん だ文化の違いや国際交流の意義を共 有し、次年度の派遣生への力強いメッ セージとなりました。異文化を尊重 し、平和に寄与する姿勢は、ロータ リー精神の実践そのものであり、今 後の地域社会にも大きな財産となる ことが期待されます。







ガバナー公式訪問 8 7 (木)

入間RC

会長 書間和弘 幹事後藤 健



8月7日(木)第2570地区、坂口孝ガバナー様、第三グループガバナー補佐高橋和男様、地区副幹事山田哲也様をお迎えして、公式訪問が行われました。

会長幹事との懇談会では坂口ガバナーのロータリークラブに対して博識があり

有意義な時間になりました。入会3年未満会員2名との懇談会では、会長エレクト、ノミニー、SAAも参加され、坂口ガバナーが丁寧にお話をされていたのが印象的でした。

恒例の「ロータリー美術館」が一柳達朗館長の進行により、美術品の説明を行われました。坂口ガバナーは微笑ましく各美術品を鑑賞されました。

クラブ協議会では会長より本年度方針と活動計画が説明され、各委員長からも報告がありました。

ガバナーからは国際ロータリーのテーマや地区重点目標に基づき、会員増強や青少年奉仕の重要性について助言をいただきました。例会での公式スピーチでは、ロータリーの原点や地域とのつながりの大切さ、未来への展望が語られました。

今回の訪問はクラブの結束を強め、今後の活動への大きな励みとなりました。







新狭山RC·狭山中央RC

会長 石川幸男幹事 脇 博喜

会長 江原伸夫幹事 小島美惠子



8月8日(金)レストランニックスに於いて坂口孝ガバナー、髙橋和男第3グループガバナー補佐、小川修一郎地区副幹事様の3名をお迎えし、18時よりガバナー公式訪問新狭山RC・狭山中央RC合同例会が行われました。公式訪問例会に先立ち、16時30分より新狭山からは石川会長・脇幹事、狭山中央からは江原会長・小島幹事を交えて入会5年未満会員2名との懇親会を執り行いました。クラブ協議会では今年度のテーマ①クラブの現況報告②会員増強・運営面での課題と問題点の共有③将来の計画、戦略計画や3-year rolling goals について各クラブの会長が報告し、その後、坂口ガバナーから大変為になるご意見・アドバイスをいただき有意義な公式訪問例会開催となりました。例会での坂口ガバナーの卓話では今年度RIフランチェスコ・アレッツォ会長の「Unite for good よいことのために手を取りあおう」というテーマや、ご自身の地区行動指針である「クラブ強化と活性化の為に行動してく



ださい!」に関してや「真のクラブ」「強いクラブ」とは?に対して熱弁していただきました。両クラブ会員の皆さまも大いに触発された様子であり、今年度のロータリー活動に対する思いを新たにした、大変有意義な公式訪問合同例会となりました。皆様、1年間どうぞよろしくお願いいたします。

8/19 (火)

入間南RC

会長 齋藤良徳幹事 石田徳一



8月19日火曜日、坂口ガバナー、高橋ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。当日は島村地区副幹事も同行頂きました。

坂口ガバナーから強いクラブになるには、またロータリー会員の世代間交流の 大切さ、クラブの活性化、本来のロータリーとは、などを卓話して頂き、会員の皆さんも刺激になった と思います。また入会式においては、坂口ガバナーより新会員にバッチを付けて頂き会員増強の意識が さらに高まったと思います。

例会終了後は5テーブルに分かれてクラブ協議会を行いました。前半では戦略委員会を中心に入間南RCの長所や短所を話し合いして1年後2年後3年後のクラブのあり方や方向性について、後半は会員増強について入会候補者等の意見を出し合いました。最後に代表者が要約して発表しました。今後のロータリー活動に反映していきたいと思います。





鶴ヶ島RC

会長 佐々木龍児 幹事 市川 大



8月20日(水)公式訪問例会の前段に入会5年未満の会員4名と入会候補者1名も交え坂口ガバナーとの懇談会を実施。ロータリーに関する質問に丁寧に答えていただき、歴の浅い会員の理解が深まる大変有意義な時間となりました。そ

の後は例会で坂口ガバナーより卓話をいただき、クラブが活性化するための6カ条をご教授いただきました。最後はクラブ協議会を開催。活動の現況報告を各部門委員長が行い、佐々木会長が議長を務めクラブの課題と改善策を話し合い、今後の方針を皆で共有することができました。ガバナーからも総評をいただき、会員全員でクラブ活性化への意識と指針がまとまる貴重な公式訪問例会となったことに心から感謝いたします。





坂戸RC

会長 中村幹也幹事渡辺恭一

8月21日に坂口孝ガバナー、齋藤大祐ガバナー補佐、京野弘一地区副幹事をお迎えして公式訪問を 開催いたしました。

例会前の入会5年未満会員との懇親会では、終始和やかな雰囲気の中、貴重なアドバイスを頂<mark>戴</mark>する 機会となりました。

ガバナー卓話では、RI 会長テーマから今年度の地区方針等について大変分かりやすいご説明をいただき、ガバナーの熱い思いを拝聴できました。

クラブ協議会では、各委員長から当クラブの現状や課題について報告を行い、ガバナーからは、例会の場で親睦を深めることの重要性やロータリアンとしての社会的自覚など心に残るお話をいただき、今後のクラブ運営にとって大変有意義な時間を過ごすことができました。







飯能RC

会長中里忠夫 幹事都築敏夫

日高RC

会長小坂雅彦 幹事町田秀雄 飯能、日高クラブ合同で坂口孝ガバナー・高橋和男ガバナー補佐・八木拓也副幹事をお迎えして行われました。入会3年未満の会員が総勢13名が出席して懇談会が開催されました。坂口ガバナーより色々と分かりやすくロータリーに関するお話を頂き大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。続いてガバナー記念卓話はRIは会員増強を推奨している、各クラブの現状を見つめなおしてクラブの活性化はこれだを作って強いクラブを目指して頑張って下さいなど色々とお話を頂きました。その後クラブ協議会に入り飯能、日高クラブから9委員会の委員長から今年度の事業計画が発表され、その後坂口ガバナーより講評を頂き協議会を閉会致しました。とっても貴重な時間を過ごすことが出来ました。



DE PART PART PART BURNE





ホストクラブ 川越ロータリークラブ

コ・ホストクラブ

川越小江戸ロータリークラブ 川越西ロータリークラブ 川越中央ロータリークラブ

2025-26年度 国際ロータリー 2570地区

〒350-8501 埼玉県川越市新富町 1-22 川越プリンスホテル内 L.049-224-5100 FAX.049-223-3366 E-mail.kawag-rc@violin.ocn.ne.jp



Award Collection

ポール・ハリス・フェロー

MPHF マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

PHS ポール・ハリス・ソサエティ

MD メジャードナー

ベネファクター

米山功労者

米山M 米山功労者マルチプル

米山MD 米山功労者メジャードナー



鈴木秀憲



美栄 東



新会員紹介 New Member Introduction

8 榎本晋

入会年月日 2025年9月2日

勤務先 朝霞たちばな学園

職 理事長 園長

生年月日 1967年5月6日

紹介者 栗山昇、佐藤秀弘

a森住麻衣

入会年月日 2025年9月3日

勤務 先 明治安田生命保険相互会社 飯能営業部

職 支部マネージャー

生年月日 1982年8月28日

紹 介 者 福地義夫

氏 名朝日和久

入会年月日 2025年8月5日

勤 務 先 中氷川神社

役 職 禰宜

生年月日 1980年9月11日

紹介者 本橋源太郎



a岡川拓之

入会年月日 2025年8月5日

勤務先 吉祥建設㈱・㈱吉祥リビング

職 代表取締役

生年月日 1971年7月28日

紹介者 本橋源太郎

所沢西

紘大 氏名原

入会年月日 2025年8月5日

勤務先 原インターナショナル(株

職 代表取締役

生年月日 1982年5月14日

紹介者 徳江和弘

入間南

圌 名木村

入会年月日 2025年7月1日

勤 務 先 株式会社 木村住宅建設

職 代表取締役

生年月日 1983年3月19日

紹 介 者 清水洋行



入間南

a山下大貴

入会年月日 2025年7月15日

勤務先 南空知リサイクルパーク株式会社

職 代表取締役

生年月日 1978年12月4日

紹介者 齊藤定利



入間南

a小原裕之

入会年月日 2025年8月5日

勤務先 Honest Star株式会社

職 代表取締役

生年月日 1970年5月24日

紹介者 齊藤定利



入間南

a木下貴博

入会年月日 2025年8月19日

勤 務 先 木下電機株式会社

役 職 代表取締役

生年月日 1976年7月7日

紹 介 者 荻野喜美雄





計 报 Obituary

謹んで哀悼の意を表し、 心からご冥福を お祈り申し上げます。

大澤義則(熊谷RC)

【逝 去】2025年8月17日(享年68歳)

会】2004年1月9日入会 【役職等】熊谷RC副会長



会員数

			云!	夏数			X		
						[2025	年8月]		
			会員数						
			2	8	対	8	М		
			0			月	У		
グル		1			年	末	R		
グループ	クラブ	'名	2 5	月	初	女	C		
			年 度			性	登 録		
			初		増	会	率		
			め	末	減	員	%		
	JII		103	105	2	5	45		
	東松	Щ	23	23	0	2	43		
	小	Ш	4	4	0	1	0		
**	坂	戸	31	32	1	1	30		
第1グループ		毛 呂	7	7	0	1	1		
グ	川越小		14	14	0	2	50		
ル	川越	西	31	34	3	5	50		
ププ	鶴ケ	島	29	29	0	2	62		
		中 央	23	23	0	1	39		
		つき	18	19	1	4	63		
	東松山む		33	34	1	3	38		
	小	<u>† </u>	316	324	8	27	38		
第2グループ	朝	霞	22	22	0	2	50		
	志	木	48	49	1	4	47		
	富士	 見	40	40	0	0	57		
	新	座	25	25	0	3	18		
	和	光	4	4	0	1	100		
プ	新座こ	ぶし	10	10	0	3	60		
	小	†	149	150	1	13	55		

第3グループ	入		間	39	40	1	1	46
	所		沢	68	70	2	6	32
	飯		能	68	68	0	1	20
	新	所	沢	19	19	0	2	63
	日		高	22	22	0	4	32
	所	沢	西	37	40	3	4	31
	新	狭	山	12	12	0	0	92
	所	沢	東	47	47	0	1	30
	入	間	南	39	43	4	1	55
	狭	山中	央	19	19	0	5	37
		小 計		370	380	10	25	44

第4グループ	深	谷	56	57	1	13	46
	本	庄	97	112	15	12	32
	秩	父	54	54	0	1	50
	寄	居	34	34	0	1	65
	岡	部	19	19	0	2	70
	深谷	東	74	74	0	0	40
	皆 野·	長瀞	8	8	0	0	25
	深谷ノ	ース	28	31	3	2	48
	小	計	370	389	19	31	47

第5グループ	熊	谷	97	96	-1	4	51
	行	田	52	52	0	4	15
	羽	生	36	40	4	3	19
	加	須	22	22	0	1	9
	熊谷	西	6	6	0	0	33
	行田さ	くら	52	52	0	4	75
	吹	上	5	5	0	0	80
	熊谷	籠 原	27	27	0	0	41
	熊谷	南	26	29	3	2	41
	小	計	323	329	6	18	41

区地 合計 1,528 1,572 44 114 41

スケジュール

【2025年10月】

10月

- 6(月) 地区ゴルフ
- 18(土) 財団地区役員会議 第2回オリエンテーション
- 19(日) 青少年交換オリエンテーション
- 25(土) RLIパートII

11月

- 2(日) 財団 End Polio Now
- 17(月) ロータリー研究会
- 18(火) ロータリー研究会
- 19(水) ロータリー研究会 オリエンテーション (青少年)
- 20(木) ロータリー研究会
- 22(土)

- 地区大会 (2570 埼玉西北)

23 (日)



ガバナー月信 10月号 2025-2026年度 Vol.4

2025年10月10日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所 〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号 ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[Web] https://rid2570.gr.jp

[ガバナー月信編集委員会] 委員長: 菊池俊介 副委員会: 荻原之彦 委員: 佐藤道晴 八木拓也 細田智也